

国際ロータリー 第 2690 地区 2019-20 年度
「古瀬俱之カガバナー公式訪問例会」並びに「会長・幹事懇談会」 報告書

出雲ロータリークラブ
幹事 松井修一

2019年10月8日(火)、ホテル武志山荘にて、古瀬俱之カガバナー様、随同行の岸篤彦地区代表幹事様をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

11時より、会長・幹事懇談会を開催しました。当クラブからは、日野実会長、山下一也会長エレクト、松井修一幹事、菊地恵介次期幹事が参加させて頂きました。まず初めに当クラブの日野会長よりご挨拶、幹事の松井よりクラブ概況について説明、そして古瀬ガバナーよりクラブの活動についてご指導頂きました。

ロータリーの基本(心)として、①友情(知人ではなくて友人)、②寛容(特に宗教と政治)、③奉仕(まずは職業奉仕)についてお話しを頂きました。当クラブの日野会長の運営方針の、出雲ロータリークラブらしさを諸先輩方から教えを請い、次なる世代に繋げていき信頼し合える仲間として改めて「出雲ロータリークラブの会員で良かった」と思えるクラブとなる様、「つながり」に重きを置いた運営をしていくことについて、評価を頂きました。続きまして、当クラブと姉妹クラブであります台湾の高雄東クラブとの姉妹クラブのきっかけについてご質問を頂き、故 原久義名誉会員の交流から始まった模様だと説明をし、お互いの周年の機会を通じての交流や週報や年賀状のやりとりについて説明申し上げますと、古瀬ガバナーより末長く続けていくようにとお話しを頂きました。ロータリーカードの取得率について、取得率のアップを目指すこと、そして実際にカードを使っていくよう要請を頂きました。会員数と出席率の推移については、ホームクラブでの出席率が地区の平均値より1~2%高いこと、平均年齢が58歳まで下がって来ていることについて年齢のバランスが整って来ているので将来にわたってのクラブ活動に期待を頂きましたので、継続して会員拡大と出席率の向上に取り組んで参りたいと存じます。「地区世界社会奉仕資金」について詳しく説明を頂き、台湾高雄東ロータリークラブとの交流や米山奨学生の支援を通じて、海外現地に実際に赴き汗をかく奉仕活動のために、この補助金を利用して欲しいとご指導頂きました。

続きまして、事業ごとに次の様なご指導を頂きました。

1. 出席・親睦について

例会について、会長、幹事、出席・親睦委員長の三名で毎回出席の案内、あるいはメイクアップの確認をされて出席率を上げているクラブの事例や、出席・親睦委員会は例会の出席だけではなく、クラブ・地区行事、世界大会も含めた全ての行事への率先垂範しての出席、全ての会員に向けて出席を促す役割があるとお話しを頂きました。

2. ロータリー情報・雑誌の取り組みについて

月に一回「ロータリーの友」を教材としてインフォーマルな形での勉強会と懇親会を開催されているクラブについて詳しくお話しを頂きました。この勉強会を5~6年間継続された結果、会員同士で様々な情報の共有ができクラブとしての基盤が整ってきたとのことでした。今後の取り組みの参考にさせていただきたいと思っております。

3. 職業奉仕活動について

当クラブで実施している「一般市民対象の無料健康相談会」について、社会奉仕なのか職業奉仕なのか考え方が別れるところであるようですが、古い方は社会奉仕と捉えられる傾向であるとお話でした。今後クラブ内でも事業のあり方について検討していきたいと思います。

4. 社会奉仕、国際奉仕活動について

これらの奉仕活動については、地道に生き生きとした奉仕活動を続けていくこと、また少しでも地域や団体を巻き込むことによって、ロータリアン以外の一般の人にロータリーの顔が見えることに繋がり、ロータリー自体の認知度アップになる活動なので、メディアやSNS を使った広報活動を同時に行って欲しいとご指導を頂きました。

5. 青少年奉仕活動について

当クラブが長年にわたり支援している出雲西高等学校インターアクトクラブの皆さんとの活動について、生徒さんと一緒になって共に地域奉仕活動を地道にやること、そしてその広報活動として、「ロータリーの友」への投稿を通じて他のクラブの皆さんへの情報発信をする、あるいは地域の皆さんに知ってもらう活動を行うことが大切だとご指導を頂きました。

6. ロータリー財団の活動について

「エンド・ポリオ・ナウ」の募金活動をしているのであれば、折角なので「ロータリーデー」を設定して、行政や神社のお祭りなどの地域行事の際に、イベントとして出店して活動をする、横断幕や法被を着て活動をしなが、ロータリアンの奉仕活動の姿を見てもらい認知度を上げていく取り組みをしていくように指導を頂きました。その際に、本年度活用したように引き続き地区の補助金を利用し、クラブ内で地区補助金作成マニュアルを整備して継続的に利用できる体制も構築するようにお話しを頂きました。ポリオの発症状況について、ナイジェリアが収束しつつあり、間もなく WHO からアフリカフリー宣言が出るであろうとお話しを聞かせて頂き、当クラブの継続事業として引き続き取り組んでいきたいと感じました。

12:30 からのガバナー公式訪問例会では、古瀬ガバナーとスウェーデンのリムハムロータリークラブからお越しのマルガレッタ様とのバナー交換、続いて古瀬ガバナーと当クラブの日野会長とのバナー交換を行って頂きました。

古瀬ガバナーからのご講演では、大リーガーの大谷翔平選手の目標達成シートを参考に作成されたロータリーの目標達成シートは大変にわかりやすく、今後のクラブ運営、将来に向かっての戦略方針決定に非常に役に立つ内容だったと思います。「クラブ奉仕」や「職業奉仕」について、わかりやすく説明を頂き、入会年度が浅い会員にもご配慮してもらい、よく理解できる内容でしたので、今後の活動に活かしていきたいと思います。最後に、古瀬ガバナーより「ロータリーとは一口（40文字）で説明ができますか」という問いかけを頂きました。古瀬ガバナーのお考えは「奉仕の志を持った人が集まるところ」、他者のお考えの例として「親睦と奉仕活動を通して自分を磨く場所」と示して頂きました。このお話を受けて、会員それぞれが「ロータリーとは何なのか」という問いかけについてしっかり考え答えを出し、あるいは日々の活動を通して自問自答を繰り返し、より充実したロータリー活動を行っていく契機にしていきたいと思います。

古瀬ガバナーのお話が終了しました後に、岸地区代表幹事より、10月19日、20日にあります地区大会の案内を頂き終了致しました。コホストクラブトして協力し全員登録で参加して参りたいと思います。

古瀬ガバナーから、出雲クラブの活動をより活性化していくための具体的な事例を沢山挙げて頂きながらのお話しは、大変勉強になりました。今後のクラブ運営に活かしていきたいと思います。古瀬俱之ガバナー様、岸篤彦地区代表幹事様におかれましては、地区大会前の大変ご多忙の中いらして頂きましたこと厚く御礼申し上げます。皆様の今後益々のご活躍と、近づいて参りました地区大会が成功裏に終わりますことを祈念致しております。今後とも引き続きまして、より一層のご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。